



福島・浪江町の皆さんを招いて

5/25 つなごう日本人・里人の詩 2014・NAMIE

東日本大震災や長野県北部地震復興支援コンサート「つなごう 日本 山人・里人の詩 2014・NAMIE」（安曇野 SUN 路主催）が5月25日、三郷公民館講堂で開かれました。この日は東京電力福島第1発電所の事故で被災し、仮設住宅での生活が続く、福島県浪江町の高齢者の皆さん28人が招かれ、元わさびーずの中村雅彦さんらのコンサートを楽しみました。世話人の一人で自身も仮設住宅で暮らす加藤茂幸さんは「安曇野は雰囲気浪江町に似ています。安曇野への訪問が、参加者した皆さんの気分転換になれば」と話しました。



耳を澄まして 目をこらして

5/17 長峰山頂野鳥観察会

豊科郷土博物館講座「長峰山頂野鳥観察会」が5月17日、明科の長峰山で開催されました。この日は市民13人が参加。新緑の森の中を鳥のさえずりに耳をすませながら散策しました。家族で参加した山岸直人さん（穂高）は「登山が好きで、山で出会える野鳥や草木を学んでみたいと参加しました」と笑顔で話してくれました。

この講座は全3回の連続講座で、次回は秋を予定しています。詳細は豊科郷土博物館（☎72・5672）まで。

安曇野を満喫！知恵と体力で真剣勝負

5/31 安曇野ロゲイニング 2014

晴れ渡った青空の下、安曇野ロゲイニング 2014（あやめまつり実行委員会・市主催）が5月31日、明科、穂高・豊科地域を会場に開催されました。

ロゲイニングとは、定められた区域内に点在するチェックポイントを、地図を見ながら探しあて、発見数に応じた得点で順位が決定する競技です。

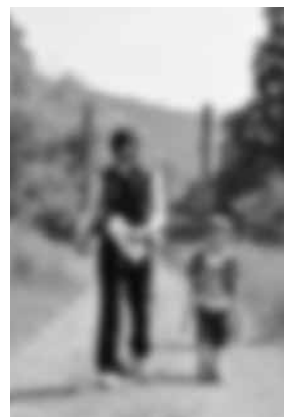
この日は、市内外から80人が参加。参加者はさわやかな初夏の安曇野を縦横無尽に駆け巡りました。

息子の弘貴くんと参加した上條真哉さん（松本市）は「安曇野の風景を満喫しながら、親子で楽しめています」と笑顔で話してくれました。

本企画は、信州安曇野あやめまつりの第30回を記念し開催。競技終了後は、「明科いいまちつくろうかい」の皆さんによりご飯や豚汁などが振る舞われ、会場には、参加者の達成感に満ちた笑顔があふれていました。

【優勝した皆さん】

家族の部：ダッシュチーム、混合の部：チーム栗、男子の部：チームみょうこう、女子の部：アミノN&H、男子ソロの部：源後知行



米作りを五感で体験

5/24 国営アルプスあづみの公園「田んぼの教室」

国営アルプスあづみの公園の「田んぼの教室（全6回）」の初回となる田植え体験が5月24日、堀金烏川と同公園事業用地内で行われました。この催しは、米作りを実際に土に触れるなど五感で体験してもらいたいと同公園が企画したもので、田植えのほか、稲刈り、わら作りなどを体験します。

この日は、4家族11人が参加。ワラ取り用の品種「関取」やコシヒカリなど3種の苗を植えました。参加した塩原颯馬くん（穂高南小4年）は「収穫したお米は、離れて暮らすおじいちゃんたちにも食べてもらいたい」と話しました。



夏の涼を呼ぶ 緑のカーテン

5/24 緑のカーテン講座

市民に地球温暖化対策と省エネに関心をもってもらおうと、市環境課では「緑のカーテン講座」を5月24日、市民活動センターで開催しました。当日は約30人が参加。市環境基本計画推進会議委員の樋口嘉一さんなどが講演し、NPO法人あづみ野風土舎の磯野康子さんは、講座の初めに「緑のカーテンの歌」を参加者と一緒に歌い「一番好きなカーテンを作ってください」と、緑のカーテンの普及を呼び掛けました。講座後にはゴーヤ茶も試飲し、家族で参加した竹岡紗代さん（堀金小5年）は「（ゴーヤ茶は）甘くておいしい。香りが体にいい感じがします」と話しました。

色とりどりのバラが咲き誇る

5/31～6/8 安曇野市豊科近代美術館 第14回バラ祭り

第14回バラ祭りが、5月31日から6月8日まで豊科近代美術館で開催されました。

開催初日の31日には、美術館と友の会の共催によりバラの苗等が販売され、多くの人がバラの苗を買って求めています。

美術館庭園の販売店テント前には、「芳純」・「紅」など75種類、200株、価格は2,000円前後のバラの苗が用意されたほか、マリーゴールドやサルビアなど花の苗や山野草なども同時に販売されました。

広さ25アールほどのバラの庭園には、約500種類、1,000株の色とりどりのバラが咲き誇り、入場無料で6月いっぱい楽しむことができます。

